

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 鈴茂器工株式会社

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小根田 育治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 鈴木 美奈子

TEL 03-3993-1371

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,774	21.6	534	194.6	542	184.2	300	190.9
22年3月期第3四半期	3,926	△2.1	181	△26.3	190	△25.2	103	△29.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	60.63	—
22年3月期第3四半期	20.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	7,361	5,814	79.0	1,172.35
22年3月期	6,740	5,590	82.9	1,127.09

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 5,814百万円 22年3月期 5,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	15.00	15.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	12.4	550	105.7	560	101.7	320	94.6	64.52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 4,960,000株 22年3月期 4,960,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 112株 22年3月期 40株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,959,928株 22年3月期3Q 4,960,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策や新興国の需要拡大の影響によって、企業収益の改善や設備投資などに回復傾向が見られましたが、欧米における財政不安等の影響や円高の長期化などにより依然として不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、お客様の低価格志向や少子高齢化、さらに所得の伸び悩みなどにより全般的に、まだまだ厳しい環境で推移しております。回転寿司の業界大手や寿司・弁当などの中食業界においては、お客様の低価格志向に対応するため、店舗の効率化を目指した店舗統合や退店は勿論のこと、価値ある商品づくりや経営管理努力などにより業績が比較的順調に推移しております。

このような情勢の中、スズメグループは、製品の品質性能や使い勝手等をよりご理解頂くために、当社独自の展示会「スズメフェア」を計画通り開催いたしました。販売状況については、主力製品を中心に、新規需要先の開拓を積極的に展開いたしました。海外についても、円高の影響を受けながらも、アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。子会社の株式会社セハー・ジャパンについては、アルコール系洗浄剤・除菌剤等の在庫調整の影響を受けるなか積極的な販売活動を展開いたしました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間における売上高合計は47億74百万円(前年同期比21.6%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益5億34百万円(前年同期比194.6%増)、経常利益5億42百万円(前年同期比184.2%増)、四半期純利益3億円(前年同期比190.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(米飯加工機械関連事業)

米飯加工機械関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は43億44百万円、利益は主力製品が大きく貢献したことにより5億36百万円の営業利益となりました。

(衛生資材関連事業)

衛生資材関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は4億29百万円、利益は昨年新型インフルエンザ特需に伴うアルコール製剤の在庫調整の影響を受けて3百万円の営業利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億20百万円増加し73億61百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億42百万円、有形固定資産が4億59百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億96百万円増加し15億46百万円となりました。これは主に、短期借入金が1億96百万円、未払法人税等が71百万円、未払費用が29百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億24百万円増加し58億14百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払74百万円により減少したこと、四半期純利益により3億円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年5月17日に公表いたしました業績予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ577千円減少し、税金等調整前四半期純利益は10,904千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,508,427	2,338,725
受取手形及び売掛金	1,093,014	950,811
たな卸資産	768,449	821,370
繰延税金資産	79,846	79,999
その他	33,394	116,064
貸倒引当金	△1,004	△2,244
流動資産合計	4,482,129	4,304,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	958,183	990,989
土地	766,170	766,170
その他(純額)	568,292	75,876
有形固定資産合計	2,292,646	1,833,036
無形固定資産		
のれん	16,790	22,387
その他	28,342	38,337
無形固定資産合計	45,133	60,724
投資その他の資産		
投資有価証券	243,611	246,763
繰延税金資産	142,193	140,899
その他	169,295	168,284
貸倒引当金	△13,316	△13,628
投資その他の資産合計	541,785	542,318
固定資産合計	2,879,564	2,436,079
資産合計	7,361,694	6,740,806
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,477	372,952
短期借入金	211,980	15,040
未払法人税等	182,759	111,353
賞与引当金	61,651	114,755
その他	305,534	184,294
流動負債合計	1,123,402	798,395
固定負債		
長期借入金	—	720
退職給付引当金	272,875	259,451
役員退職慰労引当金	7,233	5,133
その他	143,453	86,765
固定負債合計	423,562	352,070
負債合計	1,546,965	1,150,466

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,200	571,200
資本剰余金	399,850	399,850
利益剰余金	4,822,135	4,595,822
自己株式	△60	△20
株主資本合計	5,793,125	5,566,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,603	23,488
評価・換算差額等合計	21,603	23,488
純資産合計	5,814,728	5,590,340
負債純資産合計	7,361,694	6,740,806

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,926,949	4,774,220
売上原価	2,202,419	2,645,339
売上総利益	1,724,529	2,128,880
販売費及び一般管理費	1,543,097	1,594,391
営業利益	181,431	534,489
営業外収益		
受取利息	4,530	3,809
受取配当金	1,893	2,121
受取保険金	1,450	2,000
その他	3,647	2,426
営業外収益合計	11,521	10,358
営業外費用		
支払利息	361	1,028
手形売却損	592	351
売上割引	1,236	1,317
その他	3	0
営業外費用合計	2,194	2,697
経常利益	190,759	542,149
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,507
特別利益合計	—	1,507
特別損失		
有形固定資産除却損	315	279
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	10,327
特別損失合計	315	10,606
税金等調整前四半期純利益	190,444	533,049
法人税等	87,083	232,337
少数株主損益調整前四半期純利益	—	300,712
四半期純利益	103,360	300,712

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,400,154	1,791,170
売上原価	790,604	992,724
売上総利益	609,550	798,446
販売費及び一般管理費	504,182	563,120
営業利益	105,368	235,325
営業外収益		
受取利息	1,352	1,130
受取配当金	283	301
その他	1,171	411
営業外収益合計	2,807	1,843
営業外費用		
支払利息	100	324
手形売却損	221	64
売上割引	547	666
その他	3	0
営業外費用合計	873	1,054
経常利益	107,302	236,114
特別損失		
有形固定資産除却損	50	37
特別損失合計	50	37
税金等調整前四半期純利益	107,251	236,076
法人税等	49,458	102,825
少数株主損益調整前四半期純利益	—	133,251
四半期純利益	57,793	133,251

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。